

国立大学法人 名古屋工業大学 NITech Hall



所在地：愛知県名古屋市昭和区御器所町
 延床面積：約1,650㎡
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上2階建
 計：建築・設備／(株)長大
 工：建築／松井建設(株)
 電気／日本ファシオ(株)
 竣工：2016年7月

S409

工学教育のフロントランナーを目指す名古屋工業大学。その講堂棟が2016年夏、耐震性を確保するため生まれ変わりました。新たな講堂にはその建築意匠にマッチする各種のLED照明器具が採用され、空間の用途に適した照明環境が創出されています。

新たにNITech Hall (ナイテックホール)と名付けられた名古屋工業大学新講堂

名古屋市の中心部から近く、桜の名所として知られる鶴舞公園に隣接した好環境にある国立大学法人名古屋工業大学。実践的工学エリートを養成する日本屈指の工業系単科大学として、創立以来多くの研究者・技術者を輩出してきました。

講堂は1959年から様々な行事に使用されてきた旧棟が耐震改築され、2016年7月に新講堂棟が完成。名称公募によりNITech Hall (ナイテックホール)と名付けられ、1階に最大400名収容の多目的ホール、2階にグループ学習に利用できるラーニングcommonsが設けられました。

空間の利用目的に合わせて、多彩なLED照明器具を採用

新講堂棟のエントランスは、白い床と天井にグレーの柱と梁が印象的な空間となっており、LEDライトエンジンダウンライトの昼白色光がアクセントの効いた照明環境をつくり出しています。

学会や講演会、シンポジウムなどに利用される多目的ホール内は、床と壁に木をふんだんに使用し、天井面には黒く塗装された金属製格子を採用した重厚かつ温かみのある雰囲気の内装に仕上げられています。客席照明には、銀色梨地仕上げの反射板により不快なグレアを低減し、かつ明るく均一な配光のLED一体形ダウンライト7500シリーズ広角タイプ(昼白色)が採用され、天井面に引かれた7列のホワイトラインと一体として配置。舞台側の1列には、ハイパワーな明るさの水平・垂直方向可動のLEDユニバーサルダウンライト5000シリーズ中角タイプ(電球色)も10灯配され、高さ5.2mの天井から舞台の前面を明るく照らします。舞台上の地明かり照明には、省エネルギーに優れ、しかも省メンテナンスのLEDボーダーライトを6台連続。またスポット照明には、ファンレスでコンパクトなボディのLEDスポットライトFORTEX Juniorを4台採用。これらのすべての照明は舞台袖に設けた調光操作卓で用途に対応した様々な照明シーンを演出します。

2階のラーニングcommonsは、白を基調とした空間に仕上げられ、照明器具も昼白色のLEDパーと組み合わせたLEDベースライトTENQOOシリーズ直付形が採用されました。学習の場にふさわしい明るく凛とした照明環境が創出されています。



客席後方から望む多目的ホール。ホワイトラインの天井意匠にLED一体形ダウンライトを組み込み設置



舞台側から客席を望む。手前からLEDボーダーライト、LEDユニバーサルダウンライト、客席用のLED一体形ダウンライト



客席天井のLED一体形ダウンライト



LEDスポットライトFORTEX Junior



2階ラーニングcommonsのLED照明



1階エントランスホールのLED照明



調光操作卓

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
屋内	LEDユニバーサルダウンライト	LEDD-50103L-LD9	10	LED 消費電力：60W
	LED一体形ダウンライト	LEDD-75021MN-LD9	47	LED 消費電力：60W
	LEDスポットライトFORTEX Juniorフレネルタイプ	LEDD-75011MN-LD9	20	LED 消費電力：60W
	LEDスポットライトFORTEX Juniorフレネルタイプ	AL-LED-FSJ-L	4	LED 消費電力：140W
	LEDボーダーライト	AL-LED-BL-12-3-JCH	1	LED 消費電力：159W
	LEDボーダーライト	AL-LED-BL-12-3CH	5	LED 消費電力：159W
	LEDベースライトTENQOO直付40形W120調光	LEKT412691N-LD9	53	LED 消費電力：44.5W
屋内	LEDライトエンジンダウンライト	LEDD-16001M-LD9	30	LED 消費電力：9.8W
	LEDライトエンジンダウンライト	LEDD-16901M-LD9	20	LED 消費電力：18.2W